

第一戰鬪前ニ於ケル被戒形勢ノ概要
 第二期晉中作戰第一次行動ニ於テ北方及南方ヨリスル
 友軍各部隊ノ攻番ニ據リ敵第十八集團司令部及百
 二十九師主力ハ東方及東北方山嶺地帯ニ遁走シタルモ
 我ノ原駐地引揚ニ尾ヲ追テ其ノ根據地タル洪水鎮
 桐峪鎮驕龍鎮附近ニ侵入シ有カナル部隊ヲ再ニ該地
 區ニ集結セルカ如シ然レ共敵ハ我カ徹底的ナル殲滅掃
 蕩ニ依リ其ノ宿營地タル主要部落ヲ燒却セラレタルト各種
 軍事施設特ニ兵器工場火藥庫糧秣倉庫等ヲ
 破壊セラレタルヲ以テ其ノ活動ハ相當困難ノ状態ニ在リ
 旅團ハ廿日ヲ以テ白登縣附近ニ兵力ヲ集結シ軍ノ企圖ニ
 基キ第一次作戰ニ引續キ他兵團ト協力シ一ニ九師ヲ殲滅
 シ其ノ根據地ヲ覆滅セントシ獨混四旅ヲ命甲第ニ占一掃シ

下達シ各部隊ヲシテ夫々討伐ヲ準備セシム
獨混四旅作命甲第セシ一號

獨混立混成第四旅團命令

十月十二日六時
遼 野

一敵情別ニ示ス

軍ハ二九師主力ヲ潰滅シ企圖ス

二旅團ハ第一次作戰ニ引競キ主力ヲ以テ他兵團ト協方

シ二九師ヲ潰滅シ其ノ根據地ヲ覆滅セントス

三各隊ハ第二期晉中作戰計画ニ依ルニ他第二期晉中作戰

計画別冊其ノ一ニ基キ第二次作戰ヲ準備シ且實施ス

四予遼縣戰鬥司令部ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法 印刷交付

1515

第二期晋中作战第二次計画別冊其の一

昭和十五年十月十二日
獨立混成第四旅團

6

獨立步兵第十二大隊通信一分隊（五掃機）
 戰術防護班
 輜重兵一分隊（命令）
 入隊
 長 鈴木陸軍中佐
 獨立步兵第十一大隊本部（通信小隊）
 獨立步兵第十一大隊二中隊（通信小隊）
 第三大隊團步兵二中隊機關銃二小隊
 第三大隊團騎隊一分隊
 第四大隊團（松山砲兵中隊）（獨混四隊）（松山砲兵）（分隊）
 王兵一分隊
 旅團通信二分隊（三掃五掃各）

第三十六師團通信一分隊（五席機）
 戰闘救護班
 輜重兵一分隊（二分）
 旅團道轄部隊
 獨立步兵第十二大隊、一中隊
 支那語小隊
 山砲兵一分隊（二分）及單藏山砲兵一分隊
 電氣工兵一分隊
 旅團通信隊主力
 輜重兵第三中隊（三分）
 兵站自動車第四十六中隊

各部隊、任務行動
其、第二次作戰

一、支隊

X+8 日早朝、遼縣出發、別紙要図第二ニ示ス所動基準ニ依リ、所定敵ヲ索メテ之ヲ害滅、追害シ、日新橋ニ至リ、日新橋鎮ニ至リ、可ク追テ出シ、協力兵團、部隊ニ傳ヘ、敵ヲ反轉作戦開始、命令ヲ受ケ概ネ行動基準ニ依リ、敵ヲ掃蕩、殲滅シ、日新橋鎮ニ到ルモノトス

二、支隊

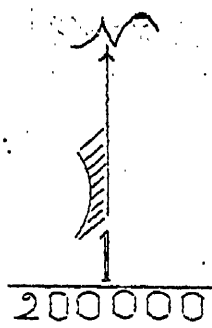
X+8 日午後、遼縣出發、石匣村ニ到リ、第一次作戦ヲ復行スル如ク、陽動欺騙ヲ行ヒ、日新橋鎮ヲ出發、別紙要図第二ニ示ス所動基準ニ依リ、所定敵ヲ索メテ之ヲ害滅、追害シ、日新橋鎮ニ至リ、協力兵團、部隊ニ傳ヘ、敵ヲ掃蕩、殲滅シ、日新橋鎮ニ到ルモノトス

✓
 三 反轉作戰開始、命令ヲ受ケ概テ行動基準ニ從ヒ
 敵ヲ掃蕩燼滅シタル日燼縣ニ到ルモノトス
 四 河入隊ハ敵軍事施設アル部落ノ燼滅キ未時ニ徹底ス
 リモノトス

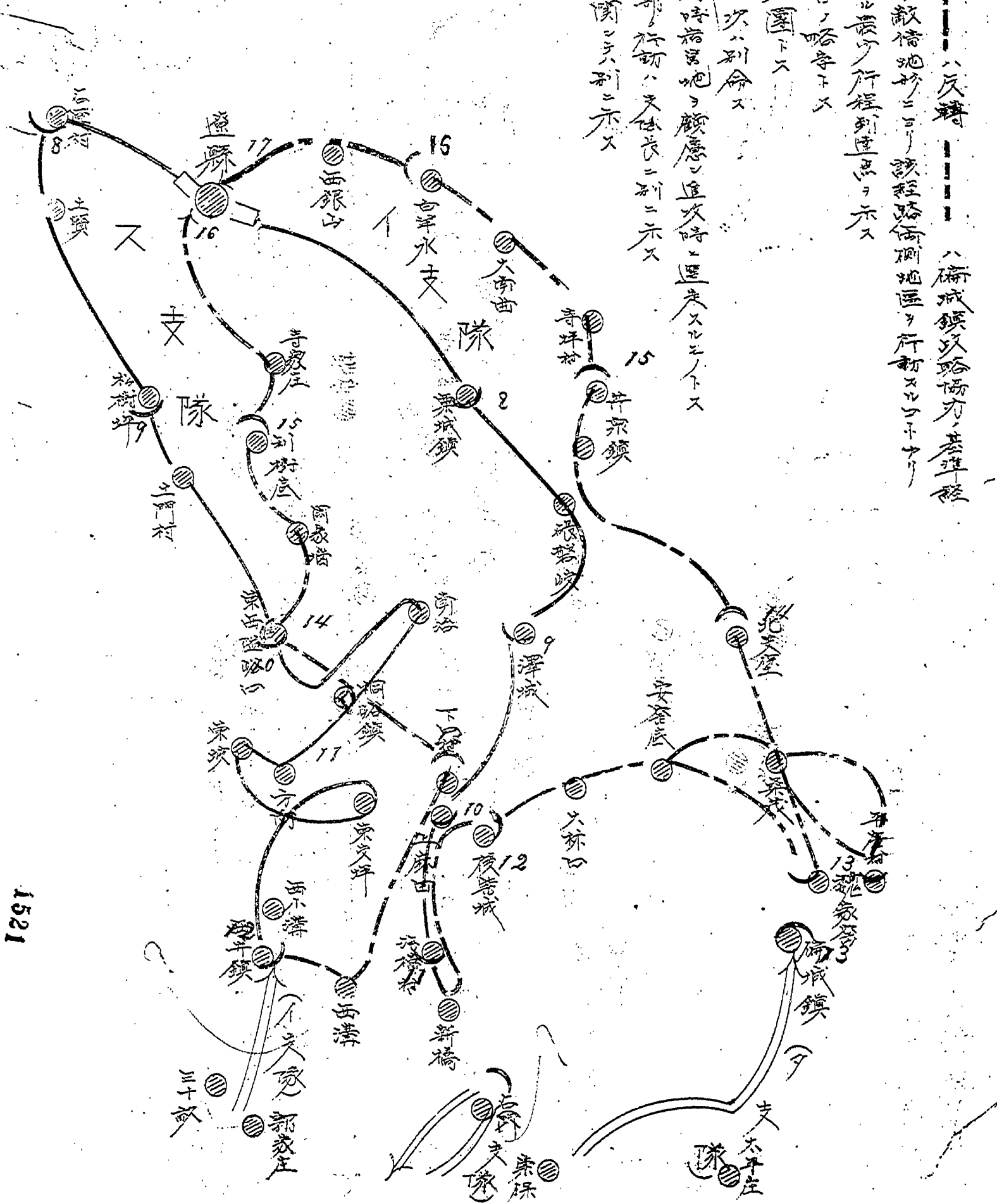
四 旅團直轄部隊
 燼初燼縣ニ位置シ所要ニ應ジ糧秣補給掩護其他
 ノ任務ニ服ス
 五 坂井地區警備隊ハ第一次作戰ノ任務ヲ續行ス

圖要平陸動所次二第戰作中晉期二第

〔自 $x+8$ 〕
〔至 $x+17$ 〕



- 備考
- 一、追次——ハ反轉——ハ礮城鎮以協力ノ基礎ヲ
 - 二、ハ礮城鎮以協力ノ基礎ヲ
 - 三、ハ礮城鎮以協力ノ基礎ヲ
 - 四、ハ礮城鎮以協力ノ基礎ヲ
 - 五、ハ礮城鎮以協力ノ基礎ヲ
 - 六、ハ礮城鎮以協力ノ基礎ヲ
 - 七、ハ礮城鎮以協力ノ基礎ヲ
 - 八、ハ礮城鎮以協力ノ基礎ヲ



1521

11

1637

通信補給
其、二 第二次作戰
一、通信
第二期晉中作戰通信計畫ニ依ル、外左、如ク実施
スルモノトス
1. 第二次作戰通信圖ハ、附圖第二ニ、如シ
2. 信號及標識中左記ノ如ク變更ス
追害 台三星
集結 亦三星
二補給
一、彈藥
1. 裝備彈藥ハ、携帶足數一門一銃ニ付（小銃一ニ。發輕機
八、發重機一ニ。發大砲四ニ發聯隊砲

四八發九四八山砲五發、携行ムネソト入
 2. 步兵中隊彈藥小隊及步兵大隊彈藥班携行基準在、
 如シ
 步兵中隊彈藥小隊及步兵大隊彈藥班携行基準在、
 如シ
 步兵中隊彈藥小隊(二二發)
 小銃輕機彈藥一箱(小銃各銃給一四、輕機一四四、卷)
 手榴彈一箱(二、八各八發)
 重榴彈藥一箱(二、八各八發)
 1. 步兵隊彈藥班(五三發)
 大隊彈藥三二箱(三發八、一門九六發)
 九四式山砲彈藥一箱(四發八、一門九六發)

入支隊輝藥班 (八一號)

入隊 砲 輝藥 六四箱 (三發入一門九六發)

聯隊 砲 輝藥 二四箱 (四發入一門九六發)

九四式 砲 輝藥 七四箱 (四發入一門九六發)

步兵中隊輝藥小隊及入隊輝藥班、所要ノ掩護ヲ行フ

聯隊本部、則トス

(一) 糧秣

ノ携帶糧秣ハ各人各馬三百分(甲二百分乙一百分馬糧

三分ノ一是糧トス)

行字糧秣ハ

步兵中隊 七百分 (甲六百分乙一百分トス)

步兵中隊 九百分 (甲四百分乙一百分トス)

3. 行政種族馬ハ人又隊ニ。駄ス又隊ハ一二。駄一ス
 (三) 其他
 1. 彈藥種族以外ノ行政馬ハ陣中事務用品衛生
 材料ノ外最小限ニ減少スルモノトス
 2. 第二次作戦間補給ヲ実施セサルモノトス
 軍中ノ飛行機ニ依ル補給亦同シ

第二期晉中作戰計畫其一二八號部、上報告せられ度
依命通牒ス

高級參謀 土田兵吾

獨混四旅作命令第六號
獨混四旅作命令第四號團命令
獨混四旅作命令第一號第二期晉中作戰計畫其一二八號部、上報告せられ度
下達法 印刷交付
團長 片山少將

1521

新
第二期晉中作戰計劃別冊其一

獨立混成第四旅團

其二
第二次作戰

長
池邊陸軍中佐

獨立步兵第十三大隊本部（通信小隊を含む）
獨立步兵第十三大隊第二中隊大隊砲一小隊（分入）
獨立步兵第十四大隊一中隊
獨立步兵第十五大隊一中隊
獨混四旅齋藤山砲兵中隊

工兵一小隊

旅團通信一分隊（各二）

戰鬥救護班

端室兵一小隊

又 支隊

獨立步兵 第十一大隊 通信一分隊 (十四日以後永洲大尉之指揮)
 獨立步兵 第十二大隊 通信一分隊 (十四日以後永洲大尉之指揮)

長 鈴木陸軍中佐

獨立步兵 第十一大隊 本部 (通信小隊ヲ含ム)

獨立步兵 第十一大隊 二中隊 (大隊長ノ小隊)

第三十六師團 步兵 二中隊 機關銃 二小隊

第三十六師團 聯隊 砲 一分隊

第四十一師團 大砲 山中隊 (獨逸西旅山砲兵一分隊ヲ含ム)

江兵 一小隊

旅團 通信 二中隊 (③ ⑤ 各二)

第三十六師團 通信 一分隊 (⑤)

戰鬪啟護班
重兵不隊（二分）

長
陶
崎
陸
軍
中
佐

才吏陵谷部（五歸無錄）

第三十七師團步兵中隊

謝四子師隱少美一子陵

禮方混成第廿六卷

卷之九

漢書卷之九

福壽無疆

訓導總局
第一分署
(3)

一、園、山、水、石、木、花、鳥、蟲、魚、人、物、各一、

戰鬪救護班（軍医一、下士官一、衛生兵三、補助担架兵若干）
 旅團直轄部隊
 第三師團（田中八隊）步兵一中隊、機關銃一小隊
 支那語小隊
 山砲兵一小隊（一分隊）及車載山砲兵一分隊
 砲氣工兵一分隊
 旅團通信隊主力
 輜重兵第三中隊（三八三八名）
 兵站自動車第四十六中隊



各部隊任務行動
其ノ二 第二次作戰

イ 支隊

又^又早朝^又遼縣出發別紙要圖第二^又示^又行動基準^又從^又所在^又敵^又索^又メ^又テ^又之^又ヲ^又密^又滅^又直^又密^又シ^又日^又新^又橋^又ニ^又切^又日^又備^又城^又鎮^又ニ^又成^又可^又近^又テ^又進^又出^又シ^又協^又力^又兵^又團^又ノ^又部^又隊^又ニ^又連^又絡^又シ^又反^又轉^又作^又戰^又開始^又ノ^又命^又令^又ヲ^又受^又ケ^又概^又不^又行^又動^又基^又準^又ニ^又從^又ヒ^又日^又井^又泉^又鎮^又附^又近^又ニ^又テ^又ナ^又部^又隊^又ヲ^又詭^又團^又直^又轄^又ト^又ナ^又シ^又敵^又ヲ^又掃^又蕩^又燼^又滅^又シ^又日^又和^又順^又ニ^又列^又ル^又モ^又ト^又ス^又ナ^又部^又隊^又ハ^又行^又動^又基^又準^又ニ^又從^又ヒ^又日^又遼^又縣^又ニ^又列^又ル^又モ^又ト^又ス

ス 支隊

又^又日^又午^又後^又遼^又縣^又出^又發^又石^又匣^又村^又ニ^又到^又リ^又第^又一^又次^又作^又戰^又ヲ^又復^又行

○

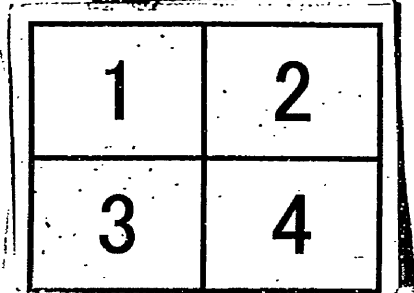
才支隊

スル如ク陽動欺騙ヲ行ヒ、
 第二ニ示ス行動基準ニ從ヒ所在ニ敵ヲ示メテ之ヲ毒滅
 追害シ、
 日西井鎮ニ進出シ協力兵團及才支隊ト陣
 敵ヲ掃蕩燼滅シ、
 日西縣ニ到ルモノトス

▽

才支隊
 日東村ヲ出發シ別紙要圖第二ニ示ス行動基準ニ從
 ヒ所在ニ敵ヲ掃蕩燼滅シ、
 日西井鎮ニ進出シ協力兵
 團ノ部隊ト陣、
 敵ヲ掃蕩燼滅シ、
 日西縣ニ到ルモノトス

分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文 書 等 名	別紙要図第二 第二期晋中作戰第二次行動基準要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

$$[x+18 \text{ 至 } x+8 \text{ 自}]$$

1535

200000

1

↑

W

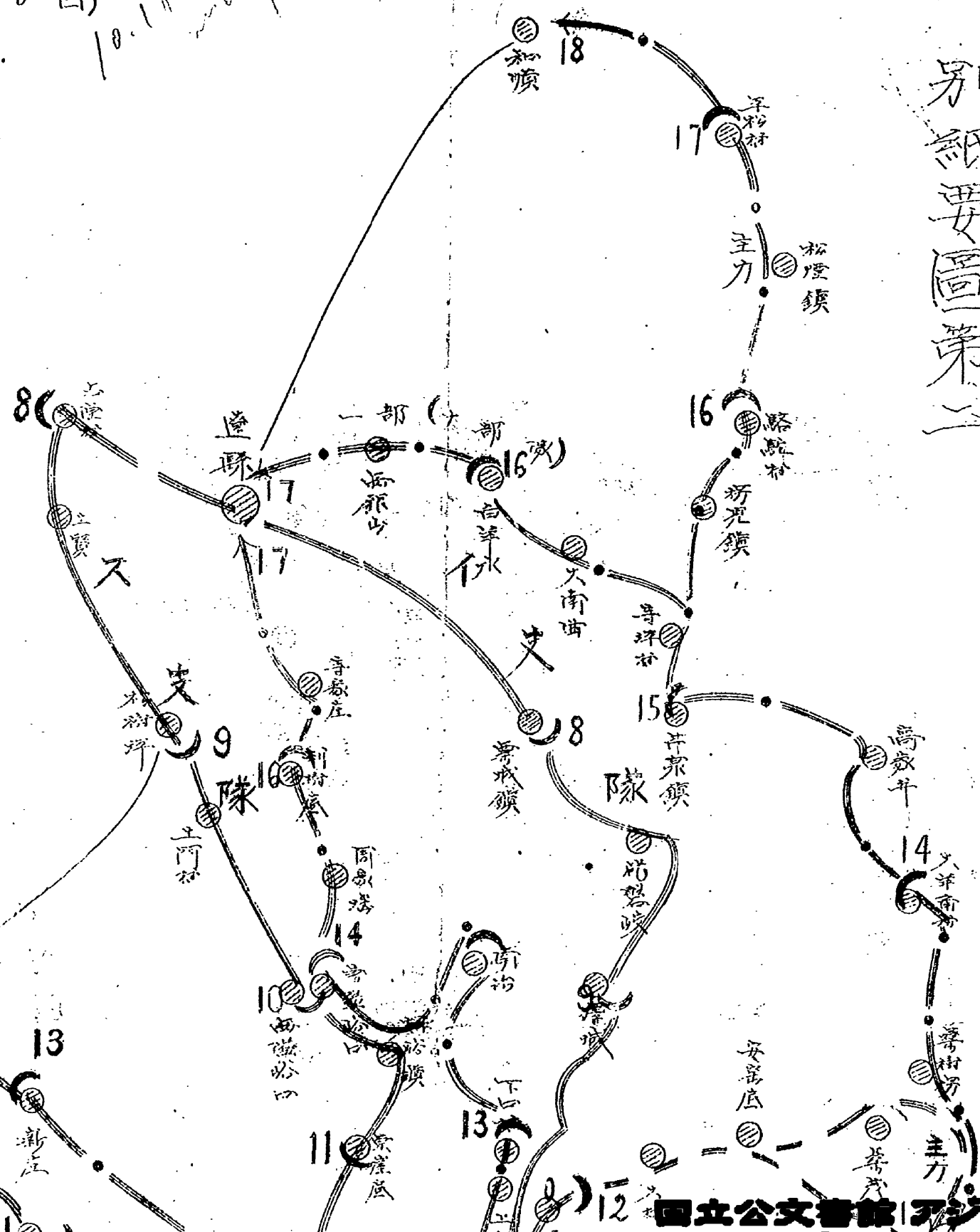
二、備考

協方兵團各支隊、細部、行
動ハ別ニ示ス



$$[x+78 \text{ 至 } x+80 \text{ 自}]$$

下庄



考

ハ進攻——ハ反轉——ハ備城鎮攻略

協力ノ基準經路ヲ示スモノニシテ敵情地形ニヨリ該
經路兩側地區ヲ行動スルコトアリ

ハ當曰ニ於ケル最少行程ノ到達點ヲ示ス

10——ハ10日ノ略字トス

ハ協力兵團ヲ示ス

反轉作戰開始ノ日次ハ別命ス

前進ニ方リテハ徒ラニ遠慮ヲ

延長スルコトナク進路兩側ヲ

咸可廣範圍ニ互リ徹底的ニ

殲滅スルモノトス

協力兵團各支隊ノ細部ヲ行

動ハ別ニ示ス

15

● 郭郭村

● 郭郭村

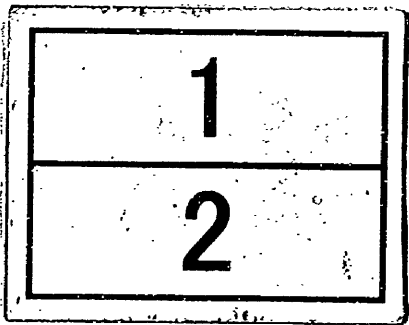
● 郭郭村



下庄

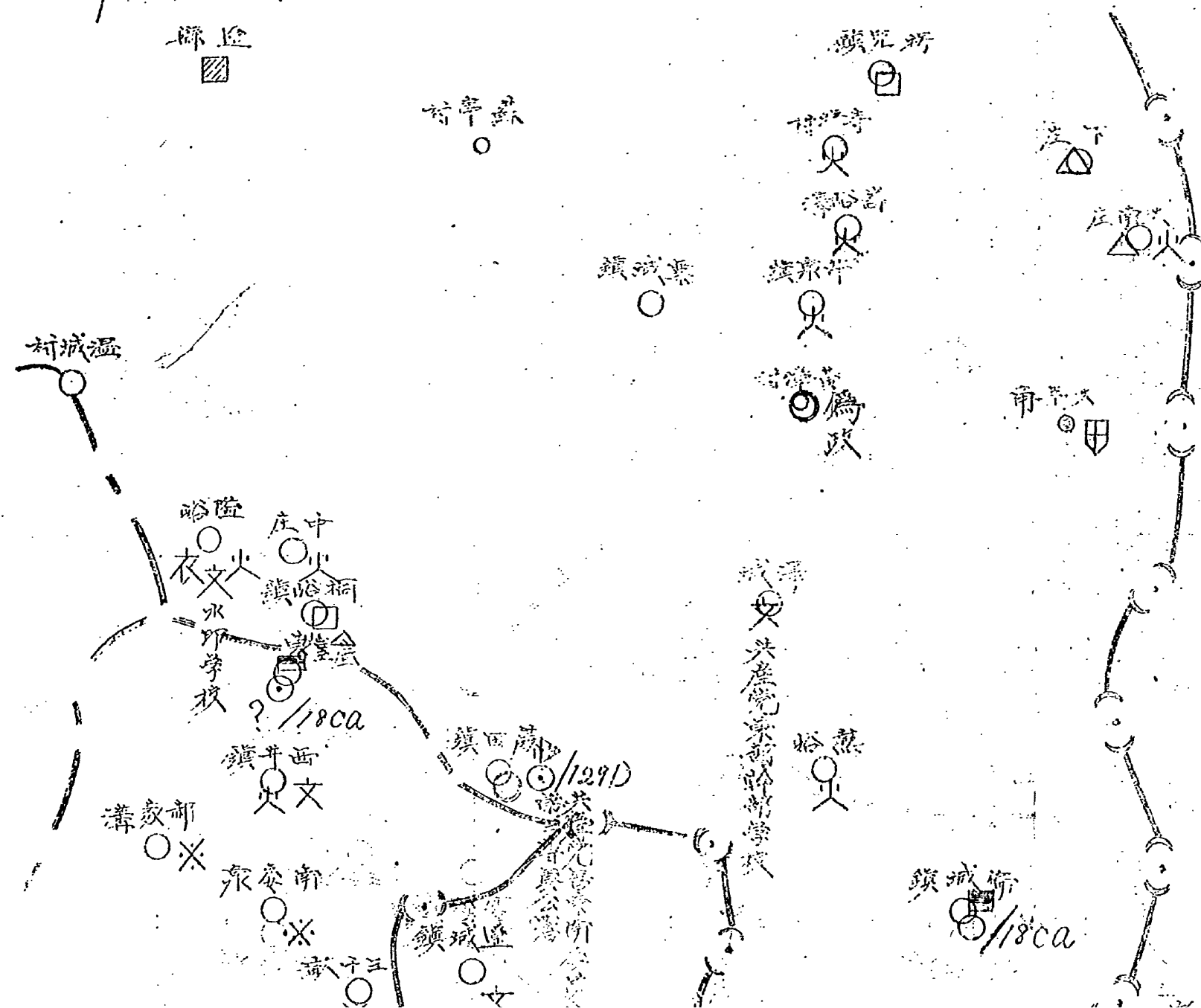


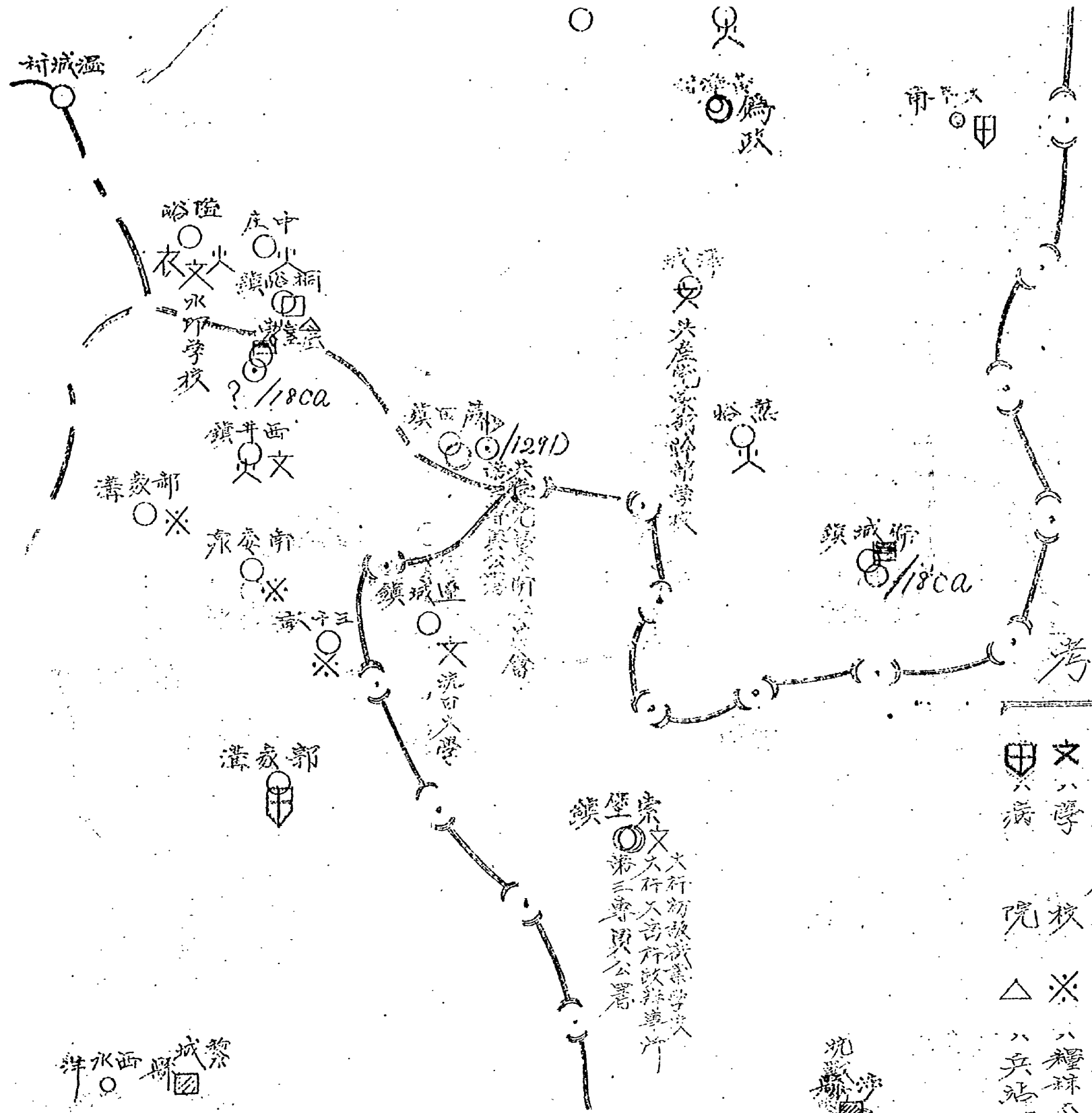
分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮 影 順 序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文 書 等 名	別紙要図第四(補備訂正) 晋東南地区共產軍諸機関所在地要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

1655
1656

別說要圖第四(續)訂正





- 兵舎
- 行政機関
- △ 兵站及供給部
- × 糧秣倉庫
- 火火兵器工場及彈藥庫
- 被服工場及被服庫

本要圖ハ昨命申第ニ六九號第二期普中作戦計系列
 要圖第四補正セルト又
 新見録等村洞略圖ニ因スル情報飛行機偵察ニ依ル
 ノミテ概ハ概不甲
 其地ニテハ過二ヶ年ノ諜報及時ニ最近ニ於テ各方面
 偵察ヲ綜合シ得タルト入
 本要圖ノ片断ハ左ノ如シ

大行初級教育学校
 大行入高行政事務所
 第三専員公署

北郷司令部

1539

五、林團道轄部隊

當初道縣ニ位置シ所要ニ應シ糧秣補給掩護其他

任務ニ服ス

十、部隊、任務行動ニ関シテハ第一項ニ示ス

六、坂井地區警備隊ハ第一次作戰、任務ヲ執行ス

通信補給

其二 第二次作戰

通信

第二、期晉中作戰通信計畫ニ依ル、外左、如ク実施スル

エノトス

一、第二次作戰通信調ハ附圖第六ニ如シ

二、信號及標式中左、如ク變更ス

追集
赤三

友軍標示

白三星

彳部	彳部	又部	彳部
曰、丸	曰、丸	曰、丸	曰、丸
旗同	旗同	旗同	旗同
			(圖示、如ノ工部ニ赤色布ヲ附ス)
左右ニ振ル	上下ニ振ル	左右ニ振ル	左右ニ振ル

二、補
(一) 彈藥

人裝備彈藥、携帶定數一門一銃、付キ一小銃一、發輕
機、發重擲一、發重機七、發大隊腕四、發
聯腕腕四、發腕五、發、携行スルモノトス

步兵中队彈藥小队及步兵大队彈藥班、携行基準左

如シ

步兵中队彈藥小队 (二三駄)

小銃輕機彈藥 (四箱) 小銃二銃 (輕機) (四。發)

手榴彈 (六箱) 石人 (三發)

重擲彈藥 (八箱) 各高 (五。發)

步兵大队彈藥班 (五三駄)

大隊砲彈藥 (三三箱) 門 (九六發)

九四式山砲彈藥 (七四箱) 門 (九八發)

又又隊彈藥班 (六一駄)

大隊砲彈藥 (六四箱) 門 (九六發)

聯隊砲彈藥 (五四箱) 門 (九六發)

九四式山砲彈藥 (七四箱) 門 (九八發)

才又蒙「五〇駄」
 九四式山砲彈藥一箱二門一〇〇發
 步兵中隊彈藥小隊及大隊彈藥班ハ所要、掩護ヲ行
 輪重兵小隊長ヲシテ之ヲ指揮シテ所屬輪重兵ニ行動セ
 シムルヲ本則トス
 恒ナ部隊ノ分進ニ當リテハ步兵中隊彈藥小隊ヲ携
 行スルモノトス

- (一) 種 株
1. 携帶種 株ハ各人各馬三百分(甲二百分乙一百分)馬糧ハ
三分一は量トス
2. 行李種 株
- イ 又 隊 八百分(甲七百分乙一百分トス)
- ス 又 隊 七百分(甲六百分乙一百分トス)
- オ 又 隊 七百分(甲六百分乙一百分トス)
- ナ 部 隊ハ分進ニ方リテハ携帶種 株ノミ携行李ルモノトス
3. 行李種 株 駄馬ハイ又 隊ニ出。駄ス又 隊ニセ。駄オ
又 隊ハ一匹。駄ヲ基準トス
- (三) 其、他
1. 彈藥種 株以外、行李駄馬ハ陣中軍勢用品衛生

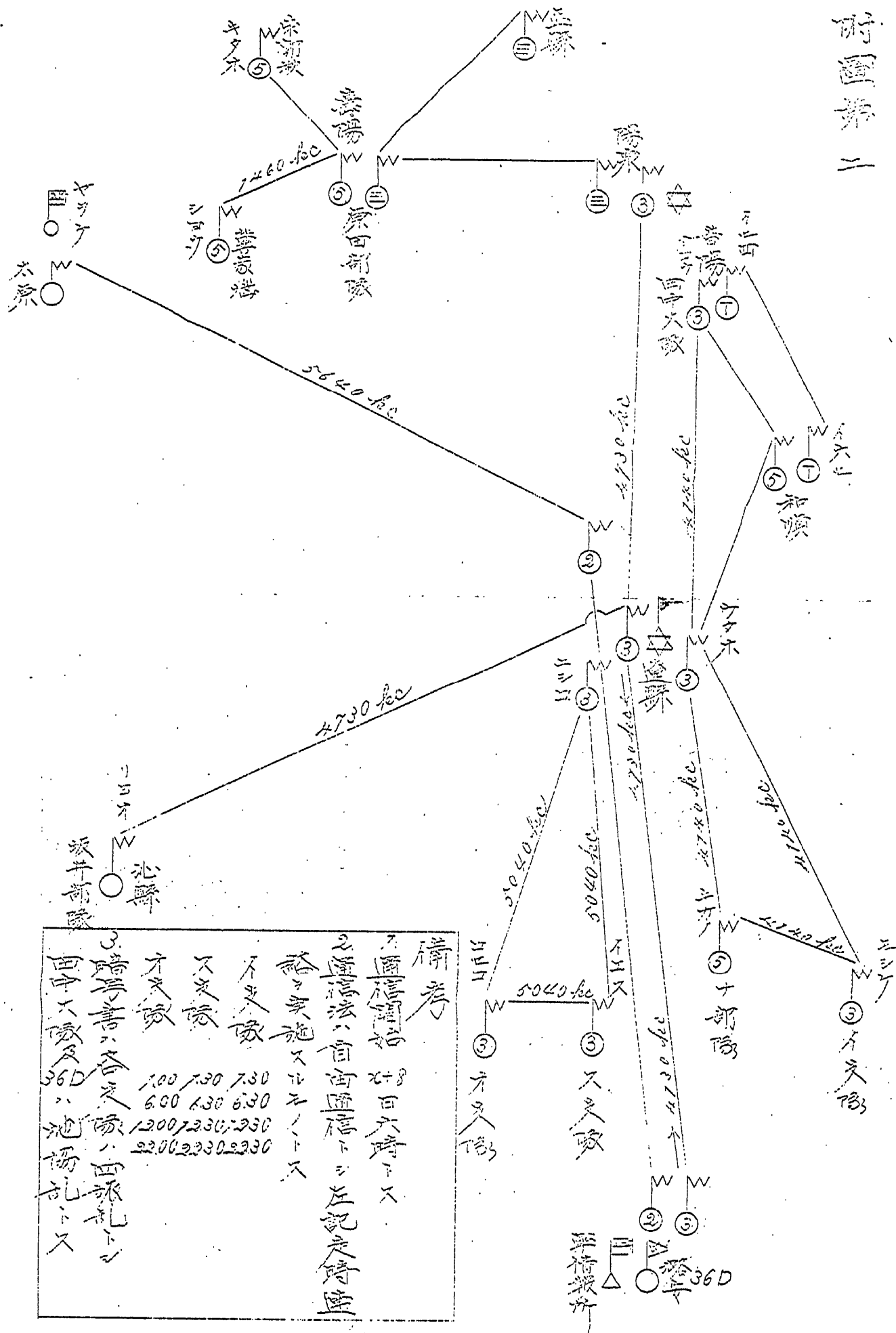
材料、外最少限に減少スルモノトス
 2. 第ニ次作戦間補給ヲ実施セス
 軍ヲノ飛所機ニ依ル補給亦同シ
 各又隊ハ極方彈藥ヲ節約ニ努ムモノトス
 状況ニ依リ行動日數増加セル場合ノ糧秣ハ現地物
 資ニ依ルモノトス

第二回作戦第二次第無疎通信計画
(百七十百十)

附圖第二

1663

33



1545